

第12回匿名データ作成方法ワーキンググループ

# 貸金構造基本統計調査の 匿名データの検討について（案）

# リサンプリング

## ●リサンプリング方法

- リサンプリング率 → 40%
- 労働者を等確率で抽出

## ●復元倍率の再付与

- 事業所が復元倍率から事業所規模が推測されるため、事業所規模1,000人以上の復元倍率を産業大分類ごとにできるだけ均一化（クラスター化）
- 以下を留意して復元倍率を再付与（手順は参考資料を参照）
  - 事業所数の合計が3以上となるように調整する範囲を設定する
    - ✓ 2つ以上の都道府県或いは産業中分類に事業所が存在
    - ✓ 調整する範囲の設定が恣意的とならないようにする
    - ✓ 範囲が単独の復元倍率となる場合は、復元倍率はそのまま使用
  - 次の方法で、調整する範囲内を復元倍率を算出し、再付与する（第10回 調整案② + 第11回 その3）

$$\text{（再算出した復元倍率）} = \frac{\sum \{(\text{復元倍率}) \times (\text{当該復元倍率の労働者数})\}}{\text{（範囲内の労働者数）}}$$

- 調整する範囲外となった事業所は、抽出対象としない

※ 復元倍率は、以下のいずれにかにより算出

- 事業所抽出率 × 常用労働者抽出率(雇用形態1～4)
- 事業所抽出率 × 臨時労働者抽出率(雇用形態5)
- 事業所抽出率 × [事業所の労働者数 / 個人票の労働者数]

# 今後について

---

## ●匿名データ有識者会議（第6回）

### ➤日時

- 9月中下旬を予定

### ➤議題

- 作成方法の検討
  - ✓ 匿名データの作成方針（案）
  - ✓ 審査表